

事業名 ^{まむろがわ} 真室川地区消流雪用水導入事業
 「楽々除雪」雪国の住みよい生活環境をめざして

受賞機関 国土交通省
 東北地方整備局新庄工事事務所
 事業実施期間 平成3年4月1日～平成12年3月31日
 事業費 4,819百万円

事業等の特徴

消流雪用水導入事業により、通学の安全、安心、余暇の確保、行政への信頼等が得られた。

事業の概要と利用者等の評価

真室川町（人口12,000人）は特別豪雪地帯に指定されている。除排雪を効率的かつ効果的に行える流雪溝整備の要請が高まっていた。このため、町や県では市街地を中心に流雪溝の整備を進めてきたが、雪を流すために必要な水量の確保が困難な状況であった。このことから、平成3年度に、国事業として「消流雪用水導入事業」に着手し、平成11年度に完成した。

事業の効果は、現時点でデータ等で可能なものについては、定量的な評価を実施した。地域へのアンケート・聞き込み等で効果があると考えられる事項については、定性的な評価として実施した。アンケートは事業実施対象区域内全世帯を対象とした。

・事業の必要性

「必要である」と回答した人が、完成前と比較して1割近く増加し9割を超え、実際に利用することでその効果を実感し、消流雪用水導入事業の必要性が再認識された。

・除雪時に作業人数
 完成前は、1世帯あたり2～3人で行う世帯が約7割であったが、完成後は1人で行う世帯が約9割であり、除雪に対する労力軽減が図られた。

・世帯における除雪に対する投資額
 （除雪機械購入や除雪作業等の業者委託）
 完成前では、20,000円以上 / 1シーズンの投資をした世帯が約4割であったのに対して、完成後では1割と減少している。

- ・地域の声（自由意見）
 - ・除雪が効率的にでき、自由時間が増えた。
 - ・除排雪がきれいにでき、安全な通学路や緊急避難路の確保ができた。
 - ・隣人とのいさかいがなくなり、住民と行政のコミュニケーションが良くなった。
- 等の意見があった。

審査委員会委員の意見等

- ・整備前後を写真で比較して除排雪の効果は読みとれる。
- ・評価は短期にはなされにくいだが、雪対策の様々な取り組みの幅を広げる意義が高い。
- ・雪国においては、冬期における生活の質の向上に寄与している。
- ・B / Cについて算出している点は評価できる。なお具体的な効果についてヒアリングを実施しながらこの点についての調査や考察がないのが惜しまれる。

受賞賛助会員 ㈱柿崎工務所、日本技術開発㈱東北支社、日本建設コンサルタント㈱東北支店



整備前



整備後